

木に寄り添う木造躯体の提案

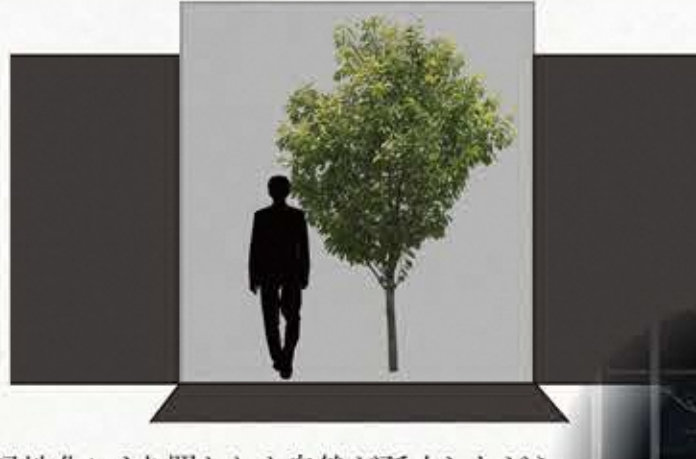
近年、コンクリートや鉄骨によって生まれた無機質な立方体に地方都市空間は支配されている。無機質な道、建築の間に緑を置いた時、そこにはグレーゾーンが生まれる。最も自然に近い建築材料のひとつである木材はその解決に最適であるだろうと考えた。



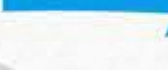
①My thought



コンクリートや鉄骨によって生まれた無機質な立方体に囲まれている。



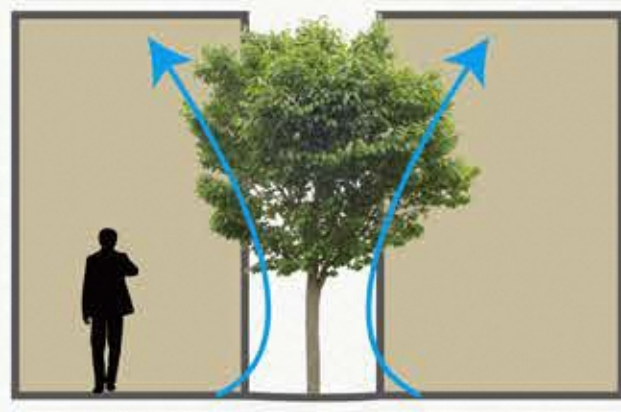
緑地化により置かれた自然が孤立しながら進む風景をよく見かけるが、それはグレーな空間を生んでいる。



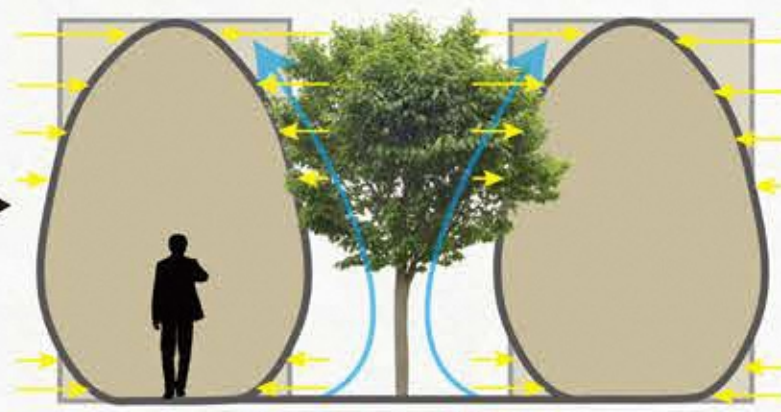
木材を活用することで自然を構造物に、木材を自然に近づけることを意識した。



②Diagram



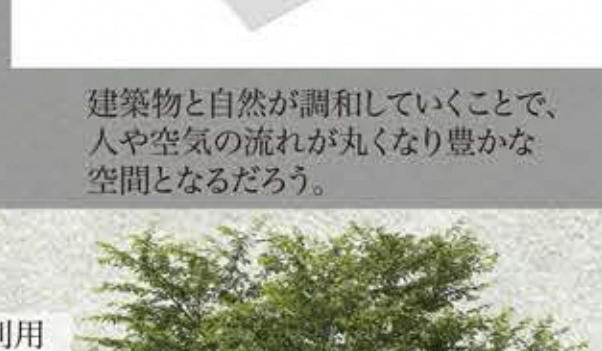
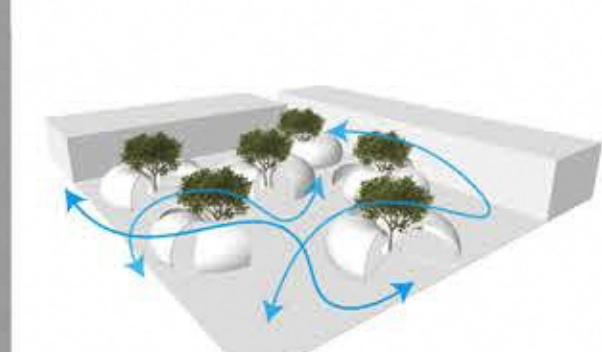
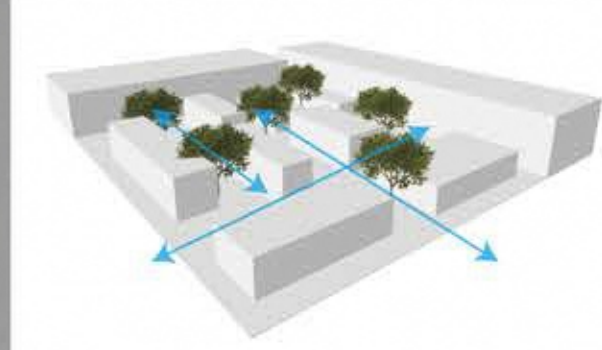
「放射状に枝を伸ばす木」と「直線的な建築物」。



建築物を木に寄り添わせる。



木を建築に建築を自然に近づける。



③Shape



ひとつのユニットをつなげていく。(大・小のふたつのサイズを想定) シンプルにつなげば木を包み込むシェル型の建築(上)に、くねらせてつなげば木を縫う通路のような建築(左)に...

④Cycle

今日日本では、大型の木造建築物が増えており、今後も増えていくことが想定される。そんな中、廃材や端材の再利用を活性化させる役割を小型の木造建築物が担っていくのではないかと推測する。

この躯体は木材のサイクルの1つとなり得る。



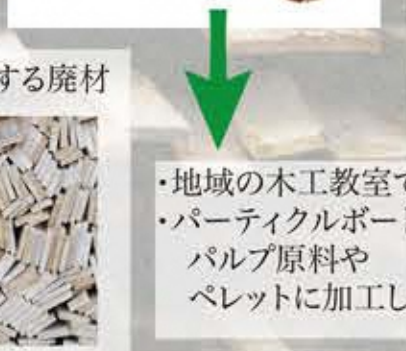
間伐材



材木店や工場で発生する端材



空き家の解体や改修によって発生する廃材



・地域の木工教室で利用
・パーティクルボードや
パルプ原料や
ペレットに加工し再利用

⑤Example

1)Cafe



2)Gallery shop



3)Book store



4)Bus stop



5)Clothing store

